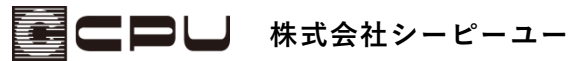


NEWS RELEASE



クラウドを活用した新たな住宅営業スタイルを推進 ストレスのない DX をアシスト

建築 3次元 CAD 「A's 2022」新登場

株式会社シーピーユー（本社：石川県金沢市西泉4-60、代表取締役 木屋満晶）は、クラウドを活用した新たな住宅営業スタイルを推進し、ストレスのない DX をアシストする建築 3次元 CAD の最新版「A's 2022 (エース 2022)」を 2022 年 1 月 11 日（火）にリリースいたします。

国のデジタル化・DX の推進により、あらゆる産業において、新たなデジタル技術を使ったこれまでにはないビジネスモデルが展開されています。住宅業界でも DX への取り組みは必須とされていますが、展示場や完成見学会への来訪、紙による提案書や図面のやり取りなどアナログの手法が多かったこともあり、DX は難しいイメージが先行し躊躇する方も少なくはないようです。

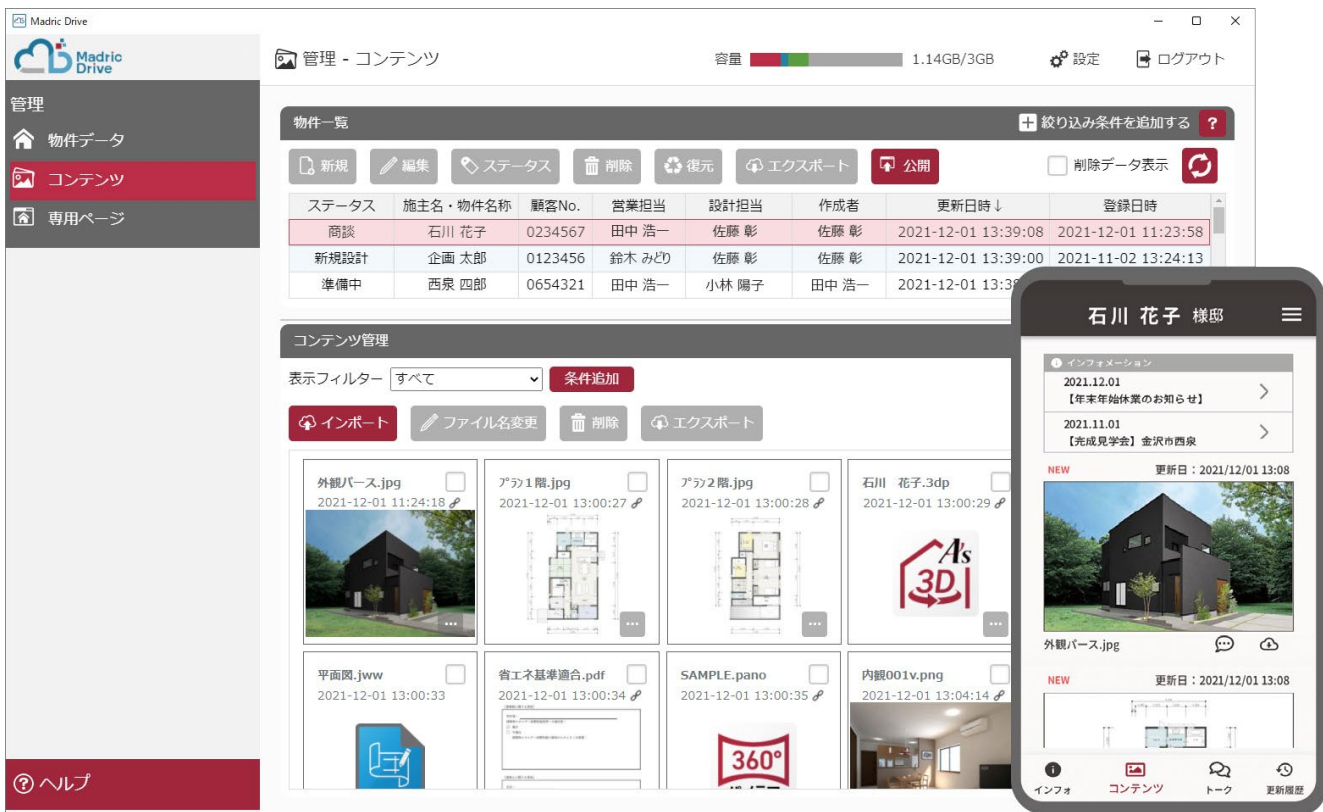
A's 2022 ではクラウドによる DX を推進するオプション「Madric Drive (マドリック ドライブ)」が新搭載されます。「Madric Drive」は、インターネット環境があれば、A's で入力したデータを専用のクラウドサーバーに保存できます。部署間のデータ共有時も、ファイル圧縮や送付の手間は不要で、まるで共有する担当者のパソコンにデータがあるような感覚でストレスなく引き継げます。

「Madric Drive」では、A's のデータ以外にも、顧客ごとに JW_CAD などの連携 CAD データをはじめ、Microsoft Office や PDF といった汎用ファイルなど、様々なデータを格納できます。A's を所有していない方にデータを共有したい場合は、「Madric Drive」から Web ブラウザで閲覧できる専用ページを生成し、LINE やメールで URL を直接送付できます。スマホやパソコンで URL にアクセスすれば、パースや図面などの各種ファイルを専用ページ内で確認でき、コメントの書き込みやトーク機能によって、コミュニケーションを取ることも可能です。

本最新版では、提案段階で住まいのイメージを膨らませ、住宅購入者様の想いや要望を引き出し、スムーズな打ち合わせを実現する機能が充実しています。お客様の関心が高い収納について、床面積に対する収納部分の面積比率を算出し、収納部分を色表示で見える化する「収納率」機能を搭載します。さらに、住宅の完成イメージに自動で外構を付加する「オート外構」機能なども追加され、住宅購入者様の心に寄り添ったわかりやすい提案に繋がり、信頼獲得および早期のプラン確定を実現します。

A's2022 は、従来アナログが中心だった住宅営業の工程にデジタルツールを融合し、クラウドを活用して新たな営業スタイルに導き、ストレスなく DX を推進します。

■ 「Madric Drive」の画面イメージ



製品名	建築 3次元 CAD「A's 2022 (エース 2022)」
提供開始	2022年 1月 11日 (火)
主な搭載機能	<ul style="list-style-type: none"> ・パースや図面など物件に関わるファイルをサーバーで簡単に保存・共有でき、住宅購入者様や協力業者様がファイルを閲覧できる専用ページを生成可能なクラウド型データ共有サービス「Madric Drive」 ・床面積に対する収納部分の面積比率を算出し、収納部分を色表示することで収納スペースを見える化する「収納率」機能 ・入力済みの建物情報を読み取り自動で外構を配置する「オート外構」機能
価格	定価 55万円 (税込) ~ ※エースユーザー様 (サポート会員にご加入の方) は、追加費用不要です。

※開発中につき、予告なく仕様を変更する場合があります。

[本件に関するお問い合わせ]

株式会社シーピーユー 企画課 TEL.076-280-8023 E-mail kikaku@cpu-net.co.jp